

## 今日のキーワード 「FF金利先物」とは（米国）

フェデラルファンド（FF）金利先物（30 Day Federal Funds Futures）は、米連邦準備制度理事会（FRB）の誘導目標であるFF金利を参照する金融派生（デリバティブ）商品で、シカゴ商品取引所（CBOT）に上場されています。米政策金利の将来の水準を想定して取引されるため、金融政策に関する市場の見通しを比較的容易に確認することができます。

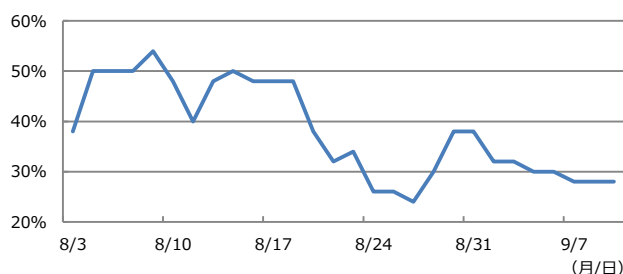
### ポイント1 先物取引は将来の価格を想定して売買する取引 FF金利先物はFF金利の将来の水準を想定

- 先物取引とは、将来の予め定められた期日（限月）に、特定の商品（原資産）を現時点で取り決めた価格で売買することを約束する取引です。FF金利先物の場合、36ヶ月まで毎月が限月となり、各限月における日々のFF実効金利を30日ベースで平均したものが原資産となります。実際の取引は価格で行われ、例えばある限月のFF実効金利が平均で2%になると予想されれば、取引価格は98（= 100-2）となります。

### ポイント2 利上げ確率が計算可能 9月利上げ確率は26%程度

- 9月9日における9月限月の価格は99.8325で、金利は $100 - 99.8325 = 0.1675\%$ となります。これらの数字に基づき市場が織り込む政策変更の確率が計算されます。
- CBOTのデータによれば、9月16、17日に開催される米連邦公開市場委員会（FOMC）でFF金利の誘導目標が0.25%～0.50%に引き上げられる確率は、26%程度とみられます。

米9月利上げ確率の変化



(注) データは2015年8月3日～9月9日。  
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

### 今後の展開 米利上げの不透明感からFF金利先物の注目度は高まろう

#### ■ 9月の利上げ確率は低下傾向にある

FF金利先物の取引価格は、米金融政策の判断に影響を及ぼす材料次第で大きく変化するため、市場が予想する利上げ確率も大きく変化します。9月の利上げ確率の推移をみると、8月以降の世界的な株安を受け、低下傾向にあることが分かります。

#### ■ FF金利先物は市場期待を容易に把握可能

FF金利先物は、これだけで金融政策の先行きを判断すべきではありませんが、市場の期待を容易に把握できる有益な指標の1つです。米利上げに関する不透明感が強いいため、FF金利先物の注目度は今後ますます高まると考えられます。

ここも  
チェック! 2015年 9月7日 米国の雇用統計 (2015年8月)  
2015年 9月2日 米国のISM製造業指数 (2015年8月)

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。